



二宮先生の描かれる女性に「愛、何ですか？」と  
訊いたら「ふいっ」と笑われそうな気がする。  
けれど、決して高みから見ている、ということではなく、  
あくまで無邪気に、傷く、赦さぬ感じがする。

狭い、苦しいPivotの一室。  
畳の上でカラダを重ねるリプル。  
約束されない未来、不確かな足元。  
生身の女と相対しているときと同じ「見えな女」。  
でも、そこにはたまらなく惹かれる。

《読むと、したくなる》というコピーも  
実感する短編集です。

シギサワカヤ  
2006.11

二宮ひかる『復讐のように』

今回は先月描いていただきました日坂先生と同じ、コミティアを中心とした個人誌活動で人気を集め、今年発売された短編集が話題になったシギサワカヤ先生に日坂先生同様、繊細な男女の心理描写を描くことで人気の作家・二宮ひかる先生をおススメしてもらいました！

# シギサワカヤの 漫道+(プラス)



「復讐のように」

著：二宮ひかる  
出版社：白泉社  
発売中  
価格：880円（税込）

二宮ひかる先生が描くちよっぴり官能的な世界  
ナイーヴなオトコとオンナをまとめた短編集



「箱舟の行方」

著：シギサワカヤ  
出版社：白泉社  
発売中  
価格：680円（税込）

寄せ合うカラダ 探り合うココロ  
不器用な男女によって編られた恋愛短編集



コミックとらのあな札幌店3周年記念

シギサワカヤ先生描き下ろし  
イラスト入りブックカバープレゼント！

2006年12月1日～12月3日まで先着でプレゼント  
※配布条件など詳細は札幌店店頭ならびにとらのあなWebサイトまで